

おおつち“お宝”発見 ～後世に残したい地域の文化遺産～ 意見交換会を開催します！

町は、令和7年度～令和9年度の3カ年において、国の文化財保護法に基づく「文化財保存活用地域計画」（文化財の総合計画）を作成します。

計画を作成する上で、地域に所在する文化遺産（“お宝”）の情報を収集（掘り起こし）し、それらを後世に受け継いでいくための方策について意見交換会を開催します。

開催概要

町内各地区を行政ブロックに分け、地域ごとに文化遺産（“お宝”）の情報を共有し、その価値や魅力を後世に受け継ぐために意見交換します。

ご家庭や地域の中で受け継がれてきた歴史的・文化的なものの情報をぜひ教えてください。

【“お宝”の例】

建造物、絵画、彫刻、工芸品、古文書、考古資料、歴史資料、民俗、史跡、名勝、動植物・地質鉱物、昔話・伝説、遊び、地名、郷土料理など



開催スケジュール

年	月	ブロック（対象地域）	場 所
令和7年	4月	長井	長井清流館
	5月	徳並、種戸、一の渡、蕨打直	小鎚地区多目的集会所
	6月	臼沢、桜木町、花輪田	臼澤寺野地区ふれあい集会所
	7月	上町、本町、大町、末広町、新町、須賀町、栄町	おしゃっち
	8月	源水、大ケ口	大槌町多目的集会所
	9月	柁内、前段、和野	かみよ稲穂館
	10月	下屋敷、対間、元村、安瀬の沢、戸保野、中川原、中山、戸沢	金沢支所
	11月	迫又、沢山	沢山地区集会所
		小枕	小枕地区集会所
	12月	安渡、港町、新港町	安渡分館
令和8年	1月	赤浜	赤浜分館
	2月	吉里吉里	吉里吉里分館
	3月	浪板	浪板分館

※各月の具体的な日時は、開催月の広報おおつちでお知らせします。

※各ブロックの地域からの参加者は、5～10人程度を想定しています。

※“お宝”の情報は、地元の自治会・町内会、民生委員、有識者、または生涯学習課にご連絡ください。

生涯学習課 TEL 0193-42-2300

令和6年度「いわて高校魅力化」PRアワード 大賞「教育長賞」受賞！



はま留学生(大槌高校1年生)
遠藤春陽さん(左)
はま留学生の生活支援員
下川蓮さん(中)
岩手県教育委員会 教育長
佐藤一男さん(右)

わたしのはま留学ストーリー

県外から大槌高校へ入学をした「はま留学生」のインタビュー記事『わたしのはま留学ストーリー vol.3』が、岩手県教育委員会とnote株式会社による審査の結果、「生徒の声部門」の令和6年度「いわて高校魅力化」PRアワード大賞（教育長賞）に選ばれました！

インタビュー記事では、埼玉県からはま留学生、遠藤春陽さんのはま留学を決めた理由や大槌での暮らしで感じたことが、写真とともに赤裸々に語られています。

大槌を選んだ9人の高校生の物語。 町の皆さんにこそ、ぜひ読んでもらいたい！

現在、9つの記事を公開している『わたしのはま留学ストーリー』では、県外からやって来た高校生だからこそ感じる大槌の魅力が表現されています。町の皆さんにこそ、ぜひ読んでいただきたい内容です！

また、はま留学生や大槌高校生が地域で伸び伸びと活動できるのは、日々温かく見守り、支えてくださる町の皆さんのおかげです。この場をお借りして、感謝申し上げます。

はま留学生の生活を支えてくれるサポーターを募集中！

はま留学生は、町内の3カ所の下宿に分かれて大槌での生活を送っていて、遠藤さんを含む2人は、町内の一般家庭に下宿しています。はま留学の人気は年々高まっていて、今後も希望者が増えていく見込みです。

現在、はま留学生を温かく迎えてくれる下宿先を募集をしています。協力いただける人や興味がある人は、下記の問い合わせまでご連絡ください。

学務課 TEL 0193-42-6100

『わたしのはま留学ストーリー vol.3』→
「大槌高校公式note」で全記事を見ることが
できます



「いわて高校魅力化」 PRアワードとは

「探究部門」「部活動部門」「クリエイティブ部門」「生徒の声部門」「フリーテーマ部門」の5部門。令和5年10月～令和6年9月に各県立高校がnoteに投稿した記事から、各部門で1記事エントリーできる審査会となります。



わたしのはま留学ストーリー vol.3



大槌高校はま留学を選んだ理由

「海の近くで生活したい！」
小学の時、神楽岡村に連れて行ってもらったことがありました。



留学して気づいたこと

自分の好きなことを興味を持って！
なんと山奥の村で学びたい！と入塾しましたが、実際に山奥の村で学ぶという体験は想像以上です。
大槌の地で、新しい自分を発見できると感じています。